

* 商工業振興計画・小坪海浜地域活性化計画 《未策定》



◇個別計画の理念(最上位の目標)＝総合計画基本構想の「取り組みの方向」の評価

取り組みの方向	市街地を囲むみどり豊かな山や青い海の逗子海岸や小坪漁港、これらの逗子の魅力を国内外に向けて発信し続け、人が集い、ふれあいの輪が広がり、地域のにぎわいが生まれるまちをつくります。
	自然、文化、人という逗子の恵まれた地域資源を、磨き、つなぎ、生かすことにより、地域産業の活性化や個性豊かな産業の創出を図るとともに、住む人、働く人、訪れる人が一体となって、成熟した魅力あふれるまちをつくります。

施策体系別評価による総括コメント		審議会・懇話会等の総括意見（個別計画の懇話会等が作成）	
逗子海岸保全活用事業については、新型コロナウイルス感染拡大防止対策により、来訪自粛の周知を実施したため、来場者数は減少したが、個別事情によるもののため、概ね順調に進捗している。 商工業振興事業及び小坪海浜地域活性化事業は、それぞれ計画の策定は個別事情や社会状況の変化により、予定より遅れているが、策定における関係団体と方向性の共通認識を持つことができ、概ね順調に進捗していることから、総括として令和2年度の「取り組みの方向」の達成状況は、ある程度達成できたと考える。		個別の事業は課題があるが、評価については概ね妥当と考える。	
個別計画の評価(施策体系別)	B	審議会等が妥当と考える評価区分	B

◇施策体系別の評価

施策体系	施策体系評価	事業名	コメント	事業評価の状況			審議会・懇話会等の意見
				(a)	(b)	(c)	
1	逗子海岸保全活用事業	b (b)	逗子海岸保全活用事業 新型コロナウイルス感染拡大防止のため、海水浴場を開設せず来訪自粛の周知を実施した結果、来訪者数は減少したが、個別事情によるもののため、概ね順調に進捗している。		1 (1)		《事業進行管理表欄再掲》 事業評価については妥当と考える。
2	商工業振興事業	b (b)	商工業振興事業 (仮称)商工業振興計画の策定に着手に向けて、商業施設の更新や新しい生活様式への対応など社会状況の変化を見定めながら、関係団体と調整していくこととなったため、概ね順調に進捗している。		1 (1)		《事業進行管理表欄再掲》 事業評価については妥当と考える。
3	小坪海浜地域活性化事業	b (b)	小坪海浜地域活性化事業 (仮称)小坪海浜地域活性化計画の策定に着手できていないが、計画の一部である小坪漁港の活性化を優先して取り組むこととなり、予定より遅れているが、概ね順調に進捗している。		1 (1)		《事業進行管理表欄再掲》 事業評価については妥当と考える。

◇審議会・懇話会等の意見

＜各所管による事業進行管理表の評価状況についての意見＞

特になし

＜計画を越えた連携についての意見(他の計画や住民自治協議会等との連携)＞

特になし

◇審議会・懇話会等の意見／【Action】の観点からの意見等

＜事業の推進・改善に向けて意見・提案＞（今年度、来年度に向けた意見）

事業の推進に関して、メディアやツール等をもっと活用して、市民に発信するような仕組みを進めてもらいたい。

＜個別計画の今後の展開や策定に向けて考慮・検討を要する事項＞（次期計画に向けた意見）

小坪海浜地域の活性化の検討に当たっては、活性化の定義付けから検討の進め方についても、住民自治協議会をはじめとした地元と連携して推進してもらいたい。

■ * 市民自治推進計画 《未策定》



◇個別計画の理念(最上位の目標)＝総合計画基本構想の「取り組みの方向」の評価

取り組みの方向	逗子のまちづくりを担っているのは、市民一人ひとりです。市民が、自分のことだけでなく、他人や地域、自然のことを自分のことのように考え、行動することができる市民の姿が望まれます。
	また、逗子に住み、働き、学び、交わるあらゆる主体が、地域の一員として、考え、行動し、それぞれの関係の中で互いの理解を深め、担い合い支え合うことにより、心豊かな市民自治のまちを実現します。

施策体系別評価による総括コメント		審議会・懇話会等の総括意見（個別計画の懇話会等が作成）	
(仮称)自治基本条例検討事業は、検討作業が進んでおらず条例の制定まで時間を要する状況である。 地域自治システム推進事業については、逗子小学校区の住民自治協議会の設立の目途が立っていない。 市民協働推進事業については、(仮称)市民協働推進条例については、一旦凍結となっている。 3つの事業いずれもC評価であり、総括として令和2年度の「取り組みの方向」の達成状況は、十分とは言えない。		前年度よりすべての事業において、ほとんど進捗が見られない。	
個別計画の評価(施策体系別)	C	審議会等が妥当と考える評価区分	C

◇施策体系別の評価

施策体系	施策体系評価	事業名	コメント	事業評価の状況			審議会・懇話会等の意見
				(a)	(b)	(c)	
1 (仮称)自治基本条例検討事業	C (c)	(仮称)自治基本条例検討事業	(仮称)自治基本条例の検討作業は進んでいないことから、順調であるとみなせない。			1 (1)	《事業進行管理表欄再掲》 事業評価については妥当と考える。
2 地域自治システム推進事業	C (c)	地域自治システム推進事業	5つの小学校区中、住民自治協議会が4つ、住民自治協議会ブロック準備会が1つ設立されているが、目標の達成は困難であることから、順調であるとみなせない。			1 (1)	《事業進行管理表欄再掲》 事業評価については妥当と考える。
3 市民協働推進事業(市民協働推進条例の制定)	C (c)	市民協働推進事業	(仮称)市民協働推進条例に係る調査・研究及び市民協働等推進懇話会による検討は、市長ヒアリングの結果、一旦凍結することとなったため、順調であるとみなせない。			1 (1)	《事業進行管理表欄再掲》 事業評価については妥当と考える。

◇審議会・懇話会等の意見

＜各所管による事業進行管理表の評価状況についての意見＞

特になし

＜計画を越えた連携についての意見(他の計画や住民自治協議会等との連携)＞

地方自治を進めていくために、市は住民自治協議会とより連携を図ることが求められる。
住民自治協議会は市に協力したいと伝えているが、何年も無反応であるため、住民自治協議会の呼びかけに応じることを要望する。

◇審議会・懇話会等の意見／【Action】の観点からの意見等

＜事業の推進・改善に向けて意見・提案＞（今年度、来年度に向けた意見）

市民自治推進の中核となるべき住民自治協議会については、設立済みの4小学校区では、すでに5年以上活動がされ、成果もあがっていることから、その活動を支えるための条例の制定が急がれる。

＜個別計画の今後の展開や策定に向けて考慮・検討を要する事項＞（次期計画に向けた意見）

特になし

■ * 情報化推進計画 《未策定》



◇個別計画の理念(最上位の目標)＝総合計画基本構想の「取り組みの方向」の評価

取り組みの方向	ICT(情報通信技術)を積極的に活用することにより、暮らしに関わるあらゆる分野において、より便利で質の高い暮らしができるまちをめざします。
	また、情報化の推進により、あらゆる主体が、自らの活動を発信し、コミュニケーションを豊かにすることで、よりよくつながり、いきいきと暮らせるまちをめざします。

施策体系別評価による総括コメント		審議会・懇話会等の総括意見（個別計画の懇話会等が作成）	
計画策定については予定より遅れているが、概ね順調であるとみなせることから、総括として令和2年度の「取り組みの方向」は、ある程度達成できたと考える。		評価については妥当と考える。	
個別計画の評価(施策体系別)	B	審議会等が妥当と考える評価区分	B

◇施策体系別の評価

施策体系	施策体系評価	事業名	コメント	事業評価の状況			審議会・懇話会等の意見
				(a)	(b)	(c)	
1 情報化推進事業	b (b)	情報化推進事業	計画策定については予定より遅れているが、マイナンバーカードの申請やマイキーID設定にかかるサポート体制などが推進できたため、概ね順調である。		1 (1)		《事業進行管理表欄再掲》事業評価については妥当と考える。

◇審議会・懇話会等の意見

＜各所管による事業進行管理表の評価状況についての意見＞

特になし

＜計画を越えた連携についての意見(他の計画や住民自治協議会等との連携)＞

特になし

◇審議会・懇話会等の意見／【Action】の観点からの意見等

＜事業の推進・改善に向けて意見・提案＞（今年度、来年度に向けた意見）

行政のデジタルトランスフォーメーションの取組み状況が市民にも見えるようにしてもらいたい。

＜個別計画の今後の展開や策定に向けて考慮・検討を要する事項＞（次期計画に向けた意見）

特になし



■ * 国際交流推進計画 《未策定》

◇個別計画の理念(最上位の目標)＝総合計画基本構想の「取り組みの方向」の評価

取り組みの方向	ICT(情報通信技術)の進化や移動時間の短縮化など、科学技術のめざましい発展を背景に、世界との距離は加速度的に近くなっています。 市民の誰もが国際性を身につけ、池子米軍家族と培ってきた日米親善交流を礎に、さらに多くの世界の人々や都市との交流、協力を進め、逗子から世界に向けて、世界の恒久平和や調和ある発展についてメッセージを発し、貢献するまちをめざします。
---------	--

施策体系別評価による総括コメント	審議会・懇話会等の総括意見（個別計画の懇話会等が作成）
国際交流推進事業では、国際理解講座は開催したが、池子米軍家族住宅内小学校との交流を実施できなかった。 非核平和推進事業では、新型コロナ感染拡大のためずし平和デーを実施できなかったが、概ね順調であるとみなせる。 総括として令和2年度の「取り組みの方向」の達成状況は、十分とは言えない。	評価については妥当と考える。
個別計画の評価(施策体系別)	C 審議会等が妥当と考える評価区分 C

◇施策体系別の評価

施策体系	施策体系評価	事業名	コメント	事業評価の状況			審議会・懇話会等の意見
				(a)	(b)	(c)	
1 国際交流推進事業	c (c)	国際交流推進事業	国際理解講座(フェアトレード啓発事業)を開催したが、池子米軍家族住宅内小学校との交流について実施できなかったため、順調であるとみなせない。			1 (1)	《事業進行管理表欄再掲》事業評価については妥当と考える。
2 非核平和推進事業	b (b)	非核平和推進事業	新型コロナ感染拡大のためずし平和デーを実施できなかったため、市が主催または共催の非核平和に関するイベントへの参加者数は減少したが、概ね順調である。			1 (1)	《事業進行管理表欄再掲》事業評価については妥当と考える。

◇審議会・懇話会等の意見

＜各所管による事業進行管理表の評価状況についての意見＞

特になし

＜計画を越えた連携についての意見(他の計画や住民自治協議会等との連携)＞

特になし

◇審議会・懇話会等の意見／【Action】の観点からの意見等

＜事業の推進・改善に向けて意見・提案＞（今年度、来年度に向けた意見）

事業の推進にあたっては、コロナ禍の状況を踏まえた上で来年度の見通しを立て、今までの手法に捉われずに新しいやり方を検討していただきたい。

＜個別計画の今後の展開や策定に向けて考慮・検討を要する事項＞（次期計画に向けた意見）

特になし